

人権を考える講話会

研 座 演 沙 資 映 他 体 7

上越市教育委員会
新潟県上越市教育委員会生涯学習推進課
TEL 025-526-5111

実施年月日 実績等	平成16年 ※[]内は参加者数 ・6月16日(水)春日新田小学校[45人] ・6月20日(日)谷浜小学校[30人] ・7月16日(金)高志小学校[120人] ・9月27日(月)保倉小学校[50人] 平成17年 ・1月21日(金)稲田小学校[50人]	・6月17日(木)富岡小学校[20人] ・6月29日(火)八千浦小学校[40人] ・7月30日(金)和田小学校[32人] ・11月5日(金)大町小学校[30人] ・1月27日(木)戸野目小学校[40人]
主催(共催)	上越市教育委員会	
開催場所	各小学校	
対象	市民(青少年健全育成協議会会員、PTA会員、地区住民、教職員など)	
人権課題	人権全般、特に同和問題	

事業の目的

上越市は、昭和40年の「同和対策審議会答申」を受けて、昭和44年、社会福祉事務所に同和対策係を設置し、以降、部落差別などあらゆる差別の解消のために努力してきた。平成15年には、「人権を尊び部落差別などあらゆる差別をなくし明るい上越市を築く総合計画(人権総合計画)」を策定し、全市を挙げて差別解消に取り組んでいる。

当講話会もそうした活動の一貫であり、講話会を通して、市民一人ひとりが人権の意識を高めることで、差別のない明るい上越市の実現を目指している。

事業概要

町内会、婦人会、小学校後援会、子ども会、民生委員、児童委員のメンバーで構成される「青少年健全育成協議会」(小学校区単位で設置)が運営の主体となり、市の生涯学習推進課社会教育指導員が、同和問題をはじめとする人権をテーマに、小学

校で講話を行う。講話を行う社会教育指導員は、社会同和教育を専門にしており、他の研修会でも講演を行うなど、研究活動に取り組んでいる。

平成15～17年度の3か年計画で実施。3か年で上越市内に29ある全小学校で開催するよう計画、平成16年度はそのうち9校で実施。



「人権総合計画」

ち9校で実施。

なるべく多くの市民が人権に関する理解を深められるように、講話会に参加できない保護者には、児童を通して講話資料を配布している。

※毎回少しずつ変わっているが、以下主な講話内容を挙げる。

①導入・ワークショップ

- 講話会の趣旨説明
- イラストを見て、人権的観点から問題のある箇所を考える
- いじめの認識度チェック
- 「竹田の子守唄」を聞き、部落差別について考える
- ランドセルの色についての新聞投書記事から、私たちが持つ固定観念について考える

②人権問題全般に関すること

- 差別の種類、構造、差別意識について
- 「ケガレ」「清め塩」について

③同和問題に関すること

- 同和問題とは何か?
- 具体的な部落差別事象、差別事件
(「糸魚川市結婚差別事件」「近年、新潟県内で起きている差別事象について」など)
- 小中学校の社会科教科書の変遷をたどりながら、部落差別のとらえ方がどのように変わってきたかを学ぶ
- 上越市における同和対策の取り組み

④意見交換

連携状況

青少年健全育成協議会が主体となり実施。開催方法や参加者募集方法についても協議した。

特色・工夫した点

講話後、理解が深まるように(指導員との)意見交換の時間を設けた。

同和問題に限らず、子どもの人権や女性の人権など幅広く人権について考える機会となるよう努めた。

なるべく多くの人が参加できるように、小学校の授業参観後に開催するなどの工夫をした。

新聞記事や実際の事件・エピソードなどを題材とすることで、人権・同和問題についてより身近に感じられるように工夫した。

実施結果

参加者の反応・事業の反響等

- アンケートによると「親から子に人権に関する話をすることが必要と感じた」「子どもも親も人権について学ぶ必要があると感じた」など、講話会を通して人権・同和問題を考える必要性に気づいたという意見が多かった。
- 同和問題を扱うことに対し、「そっとしておいたほうがいいのではないか」「寝た子を起すな」という意見も少数だがある。
- 講話会が人権について考えるきっかけになっていると考えられる。

反省点・今後の課題

- 差別を受けてきた人たちの思いに立ちながら、あらゆる差別の解消に結びつくような講話会にする必要がある。
- 内容についても日々これでもいいのかと反省し、質を高めていく努力をしていく必要がある。
- 平成17年1月1日に13町村と合併をし、新上越市となったことから、18年度からは、講話会も新上越市の全小学校区(54校区)を対象とし、3か年計画で実施予定である。今後とも学校側と連携をとりながら小学校区単位での講話会を実施し、より一層の社会同和教育の推進・啓発に努めていく必要がある。



講話会のようす